

友禪のうまれるところ きもののヒミツ

と き／7月19日(土)～9月15日(月・祝) 10:00AM～6:00PM
 ところ／京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜と7/22、8/12休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

日本文化と美意識を継承する、きもの。江戸時代半ば以降、繊細で華麗な表現ができる友禪染の技術によって、その意匠は豊かな発展を遂げた。きものは、一定の幅の反物を直線縫いで仕立てるため非常に強い平面性をもつ一方で、施された多彩な意匠は、衣服として身にまとうことで立体性が生まれる。この平面と立体を行き来するところに、デザインされたものをはじめから立体裁断で制作していく洋服とは大きく異なるおもしろさがある。小袖と呼ばれたきものは桃山時代から江戸時代にかけて形式が整い、それを装飾するものとしてさまざまな意匠・模様構成が展開した。幕末になるとパターン構成の形式化が進み、明治時代以降の京都においては日本画家の構想力や空間構成を活かした新たな染織図案が生み出され、斬新なデザインが次々と出現した。こうしたきもの制作現場では、当時も現在も、平面に描いた下絵から染色図案になる過程で、着用して立体となることを想定した応用や調整の手が加えられてきた。ここに「きもののヒミツ」がひそんでいるのである。本展は近世から近代のきものの優品や、近世の流行を支えた雛形本などの資料、さらに円山応挙から始まる京都画壇の展開と染織図案の関わり、図案を染織作品へと応用する過程、染織図案の流行がほかの工芸品と共有するものであったことも紹介。これまでにない視点から「きもののヒミツ」に迫るものである。



左：神坂雪佳《草花図》20世紀初頭
 中央：神坂雪佳原画《友禪染裂 琳派百花》1935年
 右：神坂雪佳原画《きもの シルエット琳派百花ブルー》2015年
 (小袖 白綾子地木蘭番文様) 19世紀初期
 重要文化財 円山応挙《写生図巻 甲巻》(部分) 1771-72年

今井憲一「幻想とリアルをあわせ」

と き／7月26日(土)～9月21日(日) 10:00AM～7:30PM
 ところ／京都文化博物館 (祝日以外の月曜と8/12、9/16休館)
 京都市中京区三条高倉 (2階総合展示室) ☎075-222-0888

1907(明治40)年京都市に生まれた今井憲一は、京都市第二高等小学校卒業後、独学で油絵を描き始めた。今井の転機となったのは、1928(昭和3)年に津田青楓洋画塾に学び始めてからである。師・青楓を通して「見ること」の難しさと重要性を知ることから、洋画家・今井の軌跡が始まった。津田青楓洋画塾が解散した1933年、今井は北脇昇らと独立美術京都研究所の設立に参加する。研究所の画家仲間と活動し、シュルレアリスムの影響を受ける中で、今井の画風は徐々に幻想的なイメージへと変化していった。1938(昭和13)年第8回独立展に出品した《原生林》は、写生を重視する今井がシュルレアリスムの表現を模索する中でたどり着いた、一つの到達点であったと言えるだろう。しかしながら1940年代に入り戦況が悪化する中で、今井の描く世界にも戦時を生きることの現実が見え隠れするようになる。第10回独立展の独立賞受賞作《湿地帯》は彼の代表作の一つとなった。戦後は、現実社会の幻想性を見つめることから始まり、京都市立美術大学(現芸術大学)教授として後進の指導に当たった。本展では、京都を拠点に活動し続けた洋画家の一人、今井憲一の初期から晩年にいたる作品や関連資料を通して、彼の表現とその時代を振り返る。



《パベルの幻想》1955年 (京都市美術館蔵)
 《湿地帯》1940年 (京都市美術館蔵)
 《穿壕指揮》1943年 京都精華大学ギャラリー Terra-S

会 場		日曜	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	池大雅展 大雅からのたより 今井憲一「幻想とリアルをあわい」																															
	3F	アニメ「鬼滅の刃」全集中展 -刀鍛冶の里編・柱稽古編-																															
	4F																青の祓魔師（エクソシスト）展																
	5F																									第43回 六学会篆刻作品展							
																										ファインド・ アイズ京都 現代・文人光画展							
	6F	第26回 能装束・能面展				平和の翼 書の饗宴 ～中日書道交流展																											
	別館		音楽会		音楽会		音楽会	音楽会	音楽会		音楽会	音楽会	音楽会		音楽会	音楽会	音楽会						音楽会	音楽会					創立80周年展事業 京都工芸美術作家協会 「工芸美術逸品展」				
京 都 学 ・ 歴 彩 館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	令和7年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「カタチとモヨウ」 (11日、13日が休館日)																																

勝山正則 没後1年追悼展(木版)

と き／8月12日(火)～8月17日(日) 12:00～7:00PM

ところ／ギャラリーヒルゲート

京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

桜を描けば「白黒でも桜の色が見える」と見た者をうならせる。猫を描けば、陽だまりにいるような温かい気持ちを抱かせる。「濃淡の魔術師」と呼ばばよいのでしょうか。木版画家、勝山正則さんが82歳で亡くなって1年となります。

力強さと繊細さ。静と動。それらが同居する勝山さんの作品を見る時、いつも驚きの気持ちに駆られます。国内外で個展を開き、数々の受賞歴などからわかるように、その作風は各方面から高い評価を受けていました。一方、欲のない性格のため、「知る人ぞ知る」存在でもありました。

晩年はがんと闘いましたが、創作への思いは最後まで薄れませんでした。私にとって最後の対面となった2024年4月10日も、毎年恒例の妻春枝さんとの二人展を楽しみにして、自宅ベッドの上で彫刻刀を離さず、版木を掘っていた姿を忘れることができません。

今回の追悼展は、故人を偲ぶとともに、勝山正則という木版画家がいたということ、あらためてかみしめる機会となればと思います。



《陽光》

(ユニオン・エー副社長、元毎日新聞京都支局長、今西拓人)

勝山 正則 (Masanori Katsuyama)

- 1942 京都市に生まれる 独学で木版画をはじめ
- 1971 京都市の平安画廊で初の個展を開く (以後2008年まで)
- 1974 全関西国画家新人賞受賞
- 1987 毎日新聞社世界歴史都市会議に寄せて「京は甦るか」に木版画挿絵連載
- 1988 日本版画会に出品、初入選。以後継続出品
- 1990 朝日新聞京都版「ワンダーランド」に木版画挿絵連載
- 1997 プノンペン (カンボジア) で木版画の指導 個展を開催 棟方記念版画大賞展入賞
- 2001 関西版画会創立 (主宰)
- 2002 キエフ (ウクライナ) で個展
- 2003 日本版画会にて日本版画会賞受賞
- 2005 関西版画展にて因州和紙による版画展との交流、スペイン・バルセロナのサン・アングレウ区役所のギャラリーで個展
- 2008 鳥取県・岩美町観光会館2階ギャラリー (浦富八景勝山正則木版画展) 東京・第49回日本版画会にて萬華賞受賞 (竜神洞…浦富八景より)
- 2009 「勝山正則展」(ギャラリーヒルゲート)
- 2010 ハワイ (アメリカ) で個展 「勝山正則・春枝展」(ギャラリーヒルゲート) (以後毎年)
- 2016 朝日新聞京都版文化面 俳句・短歌欄の挿絵担当 (2024年まで連載)
- 2018 関西版画会 解散
- 2019 京都・長岡天満宮 神楽殿「勝山正則・春枝 版画展」
- 2022 勝山正則・春枝 二人展 (豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-)
- 2024 7月30日 死去 享年82



勝山正則 (自宅にて)

小西 熙 遺作展

と き／8月19日(火)～31日(日) 11:00AM～7:00PM

ところ／ギャラリーなかむら (月曜休廊)

京都市中京区姉小路通河原町東入恵比須町424 ☎075-231-6632

2024年8月にこの世を去った小西熙さんの遺作展を開催いたします。

開催にあたり、ご遺族並びに遠隔地に住みながら協力を惜しまなかったお嬢さんの博子さん、また夏休み期間にも関わらず会場を協力してくれたなかむらさん、そして以前の大学研究室の仲間の尽力も…。

最後の最後まで絵描きを貫き、五感を研ぎ澄ませて、自分の表現を追い続けた小西作品をじっくり見ていただければ幸いです。

小西熙遺作展実行委員会



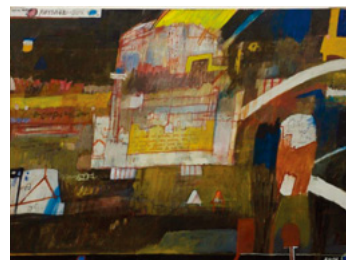
《paysage dans une JARDIN》2016



「昨日通り過ぎた街」より
《回転寿司日乗-II》

小西 熙 (ひろし) 略歴

- 1938 京都市に生まれる
- 1963 京都市立美術大学西洋画科卒業
- 1967 自由美術展に《パチンコ台と風景》を初出品。以後自由美術展に出品
- 1978 自由美術協会会員になる
- 1979 京都芸術短期大学洋画コース専任講師
- 1985 京都府美術工芸選抜展 (京都府立文化芸術会館)・京都府買い上げ京展 (京都市美術館)・市長賞
- 1988 京都芸術短期大学教授
- 1991 京展 (京都市美術館) 京展賞《床屋にて》
- 1993 京展 (京都市美術館) 須田賞《床屋にて》
- 2001 京都芸術短期大学教授から京都造形芸術大学教授へ
- 2003 京都造形芸術大学定年退職
- 2010 個展、ユルスリーヌ礼拝堂ギャラリー・フランス
- 2024 8月永眠



《路地の備忘録》2011

佐東ヒロキ展

と き／8月20日(水)～9月1日(月) 10:00AM～5:00PM
ところ／画廊たづ(株式会社たづアート本社画廊)(土・日休廊)
京都市東山区三条通神宮道西入ル ☎075-771-8225

佐東ヒロキは元々エレクトロニカやアンビエントミュージックなど電子音楽分野における楽曲の制作をしており、2017年頃から絵画など造形芸術の制作をはじめました。

さりげなく、そしてこだわりあるマチエール。建物などをモチーフにしたシンプルな世界観と静寂な空間。ゆったりとした時間流れる表現は伝統的な日本画の岩絵の具と現代のアクリル絵具を対比させています。

「あるもの」と「ないもの」の関係性に着目し、そこに佇む現実感を色面と空間に、二次元と三次元の共存を追求した表現の作品を画廊とホテルの一階という2会場で構成されております。2会場は徒歩で1分程の距離でございます。ぜひ両会場をご高覧ください。

第1会場：株式会社たづアート 本社画廊 午前10時～午後5時(土・日休廊)
第2会場：タッセルホテル 三条白川

(東山区三条通白川橋西入大井手町103-3 ☎075-771-0775)

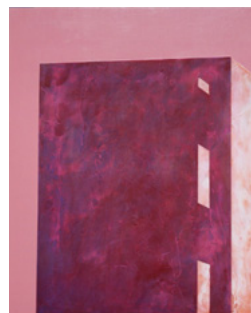
恐れ入りますが、営業時間等につきましてはタッセルホテル様までお問い合わせくださいませ。

佐東ヒロキ略歴

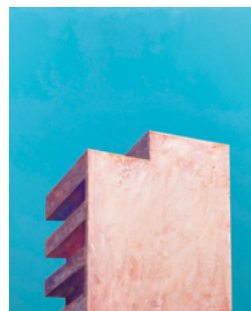
1985年 新潟県生まれ
2009年 千葉科学大学薬学部薬学科卒業
2021年 京都芸術大学通信教育部芸術学部美術科洋画コース卒業
2020年 グループ展「ACTアート大賞展2020」The Artcomplex Center of Tokyo
2020年 グループ展「シェル美術賞展2020」国立新美術館(東京)
2021年 グループ展「京都芸術大学卒業制作展」
2021年 グループ展「Prologue XII」GALLERY ART POINT(東京)
2022年 グループ展「ACTアート大賞展2022」The Artcomplex Center of Tokyo
2022年 個展「Being there」galerie16(京都)
2023年 個展「Texture of the city」TSUKIMI HOTEL(京都)
<受賞>
2020年 ACTアート大賞展2020 佳作
2020年 シェル美術賞展2020 角奈緒子審査員賞
2021年 京都芸術大学卒業制作展 奨励賞



時の顕現
(Emergence of Time) 25号



街の残心
(Echoes of the City) 25号



写真家との記憶
30号

コレクションルーム特集

「洋画の夜明け―黒田重太郎にならって」

と き／6月20日(金)～8月31日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／京都市京セラ美術館コレクションルーム(月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

酷暑の京都ながら、涼を求めるにふさわしい展覧会が開催されている。『京都洋画の黎明期』(黒田重太郎著、1947年)を紐解きながら、京都洋画の形成過程を市美のコレクションにより俯瞰する企画展である。これまでの京都洋画界の黎明期の展覧会であれば、浅井忠がフランス留学後に京都に移住して活動し始めた1903(明治35)年から始まり、翌年浅井が熊野神社東入に開設した聖護院洋画研究所を母体にした関西美術院の開設(1906年)以降を対象に行われてきた。本展示作品を一望すると、浅井忠入洛以前の京都では既に、着々と近代洋画への流れが脈打っていたことを再認識できることになる。まず目を奪われる作品が伊藤快彦《幼き漁師》(1890=明治23年)。海べりの岸壁で兄弟らしき子供たちが、蟹などを取っている日常的なスナップだ。今から135年も前に描かれた、明治の油絵とは到底思えない明快な色彩によるリアリズム絵画である。当時伊藤はドイツ留学から帰国したばかりの原田直次郎の指導を得て、こうした近代的な色彩表現に開眼していたのだ。伊藤はその頃原田の代表作《騎龍観音》の制作にも関与していたとも伝えられる。その伊藤が京都に戻って描いた《鴨川真景図》(1897=明治30年)も本展の目玉作品といえよう。現在の京阪出町あたりの真景図だ。当時の鴨川の河原はこのように広く、高野川と賀茂川が合流する鴨川デルタはまだ形成されていない。よく見れば河原の中洲で公家の家族らしき一団が野点の茶会を催している。画面左端に描かれた橋の東詰め回りには、日章旗を掲げた人力車が数台と車夫たちが屯し、東岸の寺の白壁回りには公家の姫君を乗せた人力車が通過中。右端の寺の南側に今出川大橋が開通するのはずっと時代が流れた昭和期のことだ。本作の額装がまた素晴らしい。たくさんの水鳥と川の流れの紋様の金蔎絵。外縁に打たれた銅製の家紋。本作がおそらくはこの界隈を領地としていた東久邇宮家の調度品ではなかったのかと想像される根拠でもある。

櫻井忠剛が黒い漆塗りの板に油彩で描いた《能・安宅》も明治を代表する、近代洋画と日本の伝統を融合させた記念碑的な作品である。尼崎藩主松平家の長男として生まれた櫻井は、幼い頃より東京の勝海舟邸で暮らし、いつの頃からか洋画の道を志した。晩年は尼崎市の初代市長となり絵の道からは遠ざかったが、浅井忠が京都に来た頃には京阪の洋画家たちを束ねる一人として活発に活動していた人物である。

浅井忠の聖護院洋画研究所を中心にして、伊藤快彦や櫻井忠剛、そして東の高橋由一に比して西の黎明期の巨匠と言われる田村宗立の画塾ら全てを糾合した関西美術院の開設(1906=明治39年)。そして同所で学んだ青年画家たちの作品や相關図も並ぶ本展。是非ご高覧いただきたい。

星野桂三(星野画廊主)



伊藤快彦《鴨川真景図》
1897(明治30)年



櫻井忠剛《能・安宅》
明治期



伊藤快彦《幼き漁師》
1890(明治23)年

		日曜		1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日
貸	芸 艸 堂 画 廊	木版画常設展																																
	中京区寺町二条下ル 231-3613																																	
企	絵 草 子	浮世絵・木版画・新版画常設																																
	東山区新門前通東山西 551-9137																																	
企	延寿堂ギャラリーソフォア	加藤美樹展（磁器） （木曜休廊）																		展示替え の為、 臨時休業			黒川正樹展（半磁器）										→9/9	
	中京区二条寺町東入ル 211-5552																																	
企	御 池 画 廊	7～9月頃まで休廊とさせていただきます。																																
	北区小山上総町20-2 492-3083																																	
企	画 廊 た つ	日本画常設展 （土日祝休廊）								夏期休廊								佐藤ヒロキ展（土・日休廊） （第2会場：タッセルホテル三条白川）															→9/1	
	東山区神宮道三条西入ル 771-8225																																	
貸	ぎおんギャラリー八坂	唐津焼 小杉窯 小杉隆治		着物展示販売 京のきもの嵯峨宗 住田宗明						手しごと展 3人 馬場・堀・川村				着物展示販売・京のきもの嵯峨宗 住田宗明																				
	東山区祇園町南側 525-1717																																	
企	喜聞堂アートスペース余花庵	屏風絵・古美術 常設展								島田実保 切り絵展				喜聞堂 屏風絵・古美術 常設展						台湾四人展（水墨画） 張木村 曾繁琦 鐘銘誠 吳英杰														
	中京区寺町通御池上ル 212-9793																																	
貸	ギ ャ ラ リ ー M	万博と夏休みの子どもたちを描く展 松本祐佳																																
	中京区銷薬師高倉西 221-0979																																	
貸	ギャラリー花友じゅらくだい	ロシア・ウクライナ出身画家作品展 （貸画廊受付中）																																
	上京区智恵光院中立売上ル 451-6005																																	
貸	ギャラリー祇園小舎																			金澤孝夫 個展														
	東山区四条通縄手東入 551-3828																																	
貸	ギャラリー吉象堂	貸ギャラリー受付中																																
	中京区三条柳馬場東 221-3955																																	
貸	ギャラリー Create洛	岩岡航路 遺作展 （洋画）		夏期休廊								多納三勢 洛 展 -Trial- （洋画）（月曜休廊）										夏期休廊												
	中京区丸太町通堺町角 708-7898																																	
貸	ギャラリー恵風	1F	第91回版画展 ギャラリー貸 受賞作家展 磯崎海友・ 小倉映枝・ 長嶋一孝		夏期休廊															監物紗羅展（平面）														
	2F																岡本梨瑚展（平面）																	
貸	ギャラリー胡々湾	京都アート フェア2025		貸ギャラリー受付中																														
	東山区神宮道三条上ル 090-6367-1460																																	
会 場		日曜		1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日
貸	ギャラリー佐野	貸ギャラリー受付中																																
	中京区寺町銷薬師西北角 221-2767																																	
企	ギャラリー三条祇園																																	
	中京区寺町通御池上ル 221-6401																																	
企	ギャラリー白川									第20回現代アートうちわ展 PartⅡ セレクト展																								
	東山安井東一筋目南 532-2616																																	
貸	ギャラリー16	寺田鏡子 展と 星くず																																
	東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238																																	
貸	ギャラリーSpace妙	貸ギャラリー受付中																																
	左京区松ヶ崎堀町1-1 090-6605-0656																																	
企	ギャラリー創	日本画・洋画・古書画常設展																																
	中京区河原町御池上ル 251-0522																																	
企	ギャラリー鉄齋堂	常設展																																
	東山区新門前東山西 531-6164																																	
企	ギャラリー富小路	夏期休廊																																
	下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576																																	
企	ギャラリーなかむら																			小西熙 遺作展 （月曜休廊）														
	中京区姉小路河原町東 231-6632																																	
企	ギャラリー白梅園	白崎信子ガラス作品常設展																																
	北区北野上白梅町63 461-0427																																	

【他所で見たい展覧会】

「広がる屏風、語る絵巻」展：5月24日(土)～8月3日(日) 細見美術館 (京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
 「万博・日本画繚乱―北斎・大観・そして翠石」展：7月19日(土)～9月28日(月) 福田美術館 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
 「日本美術の鉅脈」展：6月21日(土)～8月31日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
 「EXPO博覧会の時代」展：3月8日(土)～8月18日(月) 高島屋史料館 (大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館 ☎06-6632-9102)
 「藤田嗣治×国吉康雄―百年目の再会」展：6月14日(土)～8月17日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-0905)
 「特別展・非常の常」展：6月28日(土)～10月5日(日) 国立国際美術館 (大阪市北区中之島4-2-55 ☎06-6447-4680)
 「没後90年・橋本平八展」：8月2日(土)～10月13日(日) 三重県立美術館 (三重県津市大谷町11 ☎059-227-2100)
 「ゴッホ展、家族がつないだ画家の夢」展：7月5日(土)～8月31日(日) 大阪市立美術館 (大阪市天王寺区茶臼山町1-82 ☎06-4301-7285)
 「具体美術協会と芦屋、その後」展：7月5日(土)～8月31日(日) 芦屋市立美術館博物館 (芦屋市伊勢町12-25 ☎079-738-5432)
 「おさん展」：9月20日(火)～11月16日(日) 滋賀県立美術館 (大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)

会 場		日曜	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日		
貸 企	ギャラリー・ヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	赤松加奈 個展 「虫の目とおやの目」 (絵画)		ユーモア★コラージュ 田中智海 作品展				勝山正則 没後1年 追悼展 (木版)				夏期休廊						河原敦子 展 (油彩)																
		2F	岡垣慧子 個展 「Good Luck Tomorrow」 (手紙を中心としたイラストレーション)		洛楽展 (洛南高校美術部OBによる平面・立体)				板遊会展 (木版)										銅版画展 Story-3 安井良尚 他																
		奥庭 空間	鐵羅 佑 個展 五千度の庭 (鉄造形) (月曜休廊)																													→12/21			
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜定休)						夏期休廊						日本画常設展 (月曜定休)																					
貸 企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	夏期休廊																													→9/8 (未定)			
		4F																																	
		5F																																	
貸 企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	夏期休廊																																	
企 貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348																																		
企 貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																	
企	ギャルリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	夏期休廊																																	
企	ギャルリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	夏期休廊																																	
企 貸	ギャルリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	天田毅「青白磁器展」 繊細でありながら力強く清々しい 磁器の世界																																	
貸 企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																	
企	京都芸大ギャラリー・アクア 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010	国際的非暴力 展 #SUM_MER																																	
	京都市立芸術大学資料館 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010																																		
企	京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000	影の残影 (Shadow of the Shadow)																													→9/7				
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	戦争と学校と子どもたちー戦後80年をむかえてー (水曜休館)																													→9/15				
会 場		日曜	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日		
	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F 「月」	清永安雄 写真展						夏期休館						清永安雄 写真展																				
		2F 「花」	夏樹螢石 写真展『蜻蛉の国』												ハブチユウスケツムクム写真展「HARVEST」																				
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作家の作品 常設展示																																
		2F	五条若宮陶器祭 赤札市												工芸4人による4つの風景 -4Sceneries×4Creators-												Kaolin -日韓交流展-					→9/10			
貸 企	京都万華鏡ミュージアムアールスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	関西万華鏡作家展																													→9/15				
貸 企	堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	夏期休廊																																	
企	大 雅 堂 東大路通祇園上ル 541-7388	eggo0094 川瀬理央陶展 ー刻ー (会期中無休)						夏期休廊												常設展															
	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展／美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																	
企	梅 軒 画 廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画常設展						休廊												日本画・洋画常設展															
企 貸	ビニールテープ(旧 後素堂) 中京区新町丸太町下ル 231-0938	画廊企画常設展																																	
企	星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)						夏期休廊												明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)															

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当連合会のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>